

社団法人 日本産業カウンセラー協会 様

CASE STUDY

# 従来会議の4~5割をFresh Voice ASPで開催 年間1,000万円超のコスト削減を目指す

全国に点在する支部や事務所を構える日本産業カウンセラー協会。本部と支部、支部と事務所で開催するたびににかかる、出張旅費や宿泊費用を削減するため、2011年10月、Fresh Voice ASPサービスの利用を開始。操作が簡単なことから導入拠点数が増え、現在、26の拠点でさまざまな会議に利用されている。



「PCを起動するだけで会議が開催できる利便性と、電話帳で簡単に相手を呼び出せる操作性。そして複数会議の同時開催。これらが決め手となりました」

総務部・事務局次長  
甲斐 信一 氏

## POINT

- 各支部や本部で開催される会議にかかる出張コストや時間を削減したい
- 年配者でも容易に扱えるシンプルな操作性から「Fresh Voice ASP」を導入
- 約半数以上の会議をテレビ会議に移行し年間1,000万円超のコスト削減に

## ユーザー紹介

社団法人日本産業カウンセラー協会 様

<http://www.counselor.or.jp/>

## 会議にかかるコストの削減が至上命題だった

先行き不透明な日本経済、リストラ、グローバル化などにより、将来に不安を抱いている人も多い。1960年に創設された日本産業カウンセラー協会は50年超にわたり、働く人々を支援するカウンセラー「産業カウンセラー」の養成、およびその普及・啓蒙に努めてきた団体である。

同協会がテレビ会議の導入を考えきっかけは、今から2年前に遡る。

「私たちの組織は本部のほか、日本全国に支部を13カ所、そしてその下部組織としての事務所を24カ所設けています。また事業の円滑な運営を図るため、数多くの委員会や部会も設置されている。何か会議をしようという場合は、必ずどこかに集まらねばならず、そのたびに出張旅費など相当なコストが発生していました。それを削減したいと考え、テレビ会議システムの導入を検討したのです」(総務部・事務局次長 甲斐信一氏)

しかしハードウェアタイプの専用機を扱うメーカーに話を聞いたところ、導入費用は約4,000万円。「これでは経費削減になるどころか、経費増になる。そこで一度はあきらめました」と甲斐氏。とはいえ経費削減は至上命題。それをいかに解決するかと考えていたときに、「PCベースのWeb会議システムが十分、使えるようになった」という話を聞き、再び導入検討が始まった。

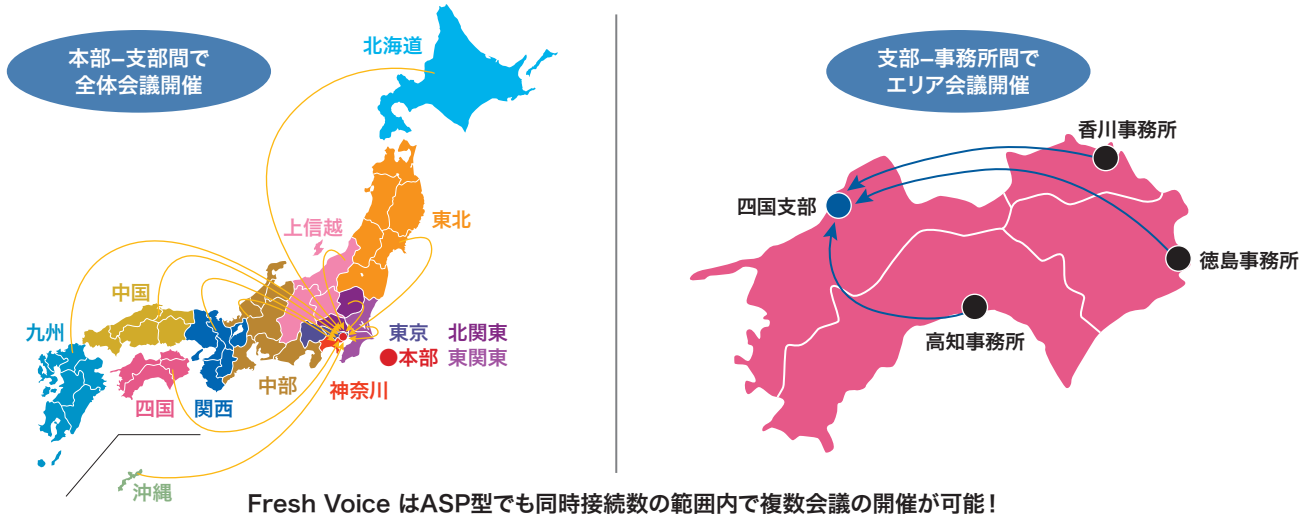
「懸念点として、私たちの組織はパソコンに不慣れな年配者が多いことがありました。最初に検討した2社のシステムは、事前にメールで会議参加の招待状を送信する手続きが必要で、導入しても本当に使いこなせるか不安でした」

1960年に東京・立教大学で第1回全国研究集会を開催したことをきっかけに発足。70年には現在の形である社団法人化。以後、産業カウンセラーの養成講座を柱に事業を展開。毎年、4,000人強もの人が養成講座を受講しており、資格取得者も5万人に上る。このほかにも同協会は厚生労働省から委託された働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト「こころの耳」の運営も行っている。

## ASP型でも複数会議が同時開催可能なFresh Voiceを選択

そんなとき紹介されたのが、Fresh Voice ASP である。Fresh Voiceの特徴は、電話帳から一斉召集できる機能を搭載していること。メールで参加要請を送る必要はなく、いつでも会議をしたい相手を画面から選択するだけで、召集できる。

●日本産業カウンセラー協会様におけるFresh Voice ASP利用イメージ



「電話帳で相手呼び出せる機能があったことは、採用の大きな決め手となりましたね。画像の美しさ、音声のクリアさも先の2社と比べて遜色ありません。また、エイネットからの提案でテレビ会議用のPCを専用に用意し、支部ではそのPCを立ち上げるだけで会議に参加できるように設定して納入してもらいました。そうした導入サポートもありがたかったですね」

2011年10月、Fresh Voice ASPサービスの利用を開始。徐々に導入拠点を増やし、現在は支部、事務所を合わせて26拠点で利用されている。ASP型のメリットについて甲斐氏は次のように語る。

「ASPサービスなら、サーバ管理が不要で、利用コストも平準化できます。なおかつFresh Voice はASP型であっても複数の会議が同時開催できる点大きい。他のASP型のテレビ会議では複数会議開催ができないものがほとんどでしたので、これは嬉しい機能でした」



協会本部でのFresh Voice ASP利用風景。拠点ごとに専用のPCを用意している。本部と支部、事務所を繋いだ会議が日常的に開催され、コミュニケーションの活性化とコスト削減につながっている。

**従来の会議の4～5割をWeb会議システムで開催**

導入当初の周囲の反応はさまざまだったと言う。

「当初は『本当に会議ができるのか』という声を挙げたところもありました。そこでまずは試してみてくださいと強制的に本部と支部間での会議をFresh Voiceで行ったんです。一度使ってみるとその使いやすさを実感し、率先して使うようになっていきました」

当初は本部対支部間での会議をFresh Voiceで開催することを目的に導入したが、その使いやすさと利便性が理解され、それぞれの支部がエリア会議（支部対事務所）にぜひ使いたいと、半年もしないうちにほとんどの拠点（事務所）で採用された。

日本産業カウンセラー協会では現在、4～5割の会議がFresh Voice ASPを使って行われている。その結果、これまで会議にかかっていた交通費や宿泊費が大幅に削減され、「年間1,000万円以上の経費削減効果が見込めます」と甲斐氏は満足げに語る。効果はそれだけではない。委員会や部会の開催は、平日に集まることが難しかったため、土日開催されていた。しかし、テレビ会議であれば、平日の夜でも開催できる。「時間が有効活用できると委員にも好評です」と甲斐氏は言う。

新しいコミュニケーション手段として、確実に日本産業カウンセラー協会に根付いたFresh Voice。

「Fresh Voiceを導入したことで、これまでになかった新しい会議も増えました。今はまだ会議だけの利用ですが、将来的には講義などにも活用できないかと考えています。普通の授業のように、教える一方だけではなく受講者が質問できたりするような双方向の講義をFresh Voiceで実現したいですね」



エイネット株式会社  
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町3-23スタウトビル3F  
代表:03-3862-5402

つなごうミーティング  
☎ 0120-275-319 E-mail fv@anets.co.jp http://www.freshvoice.net

